

みえ県議会だより

NO.
188

令和4年
(2022年)
2月1日

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



名張藤堂家邸跡（県指定史跡・名張市）

～令和3年度補正予算などについて議論～ 令和3年三重県議会定例会 11月定例会議

さらなる医療提供体制の整備等の新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、対応が必要な取り組みに関する補正予算等について議論しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、三重県議会定例会 今後の日程 (予定)
- 2～3面 代表質問、一般質問
- 4面 一般質問、用語解説、2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」発表、自治功労者表彰、令和3年度第1回三重県議会議員勉強会を開催

審議結果

可決した議員提出議案

○三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案

可決した議案

○令和3年度三重県一般会計補正予算（第13号、14号）

○令和3年度三重県一般会計補正予算（第15号）

：国の「ワクチン・検査パッケージ制度」をふまえた無料検査を実施するとともに自宅療養者等への医療提供を充実させるための経費約32億円
ほか21件

条例

○現業職員に係る規定の整理に伴う関係条例の整備に関する条例案 ほか13件

その他議案

○当せん金付証券の発売について ほか8件

人事案件（同意）

○教育委員会委員の選任につき同意を得るについて

認定した一般会計・特別会計決算

○令和2年度三重県一般会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県債管理特別会計歳入歳出決算

○令和2年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県子ども心身発達医療センター事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県就農施設等資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

○令和2年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算

採択した請願

○私学助成について

可決した意見書案

○私学助成の充実を求める意見書案
○「豊かな海」の再生に向けた海域における栄養塩類の管理の在り方の検討を求める意見書案

審議結果と主な開催実績

○子どもの自動車内への放置を防止するための環境整備を求める意見書案

※議案の概要、議員別の賛否等の状況などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

主な開催実績

11月

4日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

花や木に関する法律等について 他

10日 予算決算常任委員会

一般会計・各特別会計決算認定議案にか
かる総括質疑

11日 予算決算常任委員会3分科会

議案の審査、所管事項の調査

16日 予算決算常任委員会3分科会

議案の審査、所管事項の調査

17日 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会

関係団体・機関からの意見聴取について

22日 予算決算常任委員会

議案の審査、所管事項の調査

26日 認定議案12件認定、議案36件上程
本会議

代表質問（3人）、議案10件上程・可決、
議案1件上程・可決、議案質疑（2人）

30日 予算決算常任委員会各分科会

議案の審査

29日 予算決算常任委員会

令和4年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

30日 予算決算常任委員会3分科会

所管事項の調査

12月

1日 予算決算常任委員会3分科会

所管事項の調査

2日 本会議

一般質問（5人）

3日 予算決算常任委員会

所管事項の調査

6日 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会

条例案素案に関する執行部からの意見聴取

7日 本会議

一般質問（4人）、議案1件上程

8日 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会

執行部意見への対応について

花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

参考人からの意見聴取について 他

8日 本会議

一般質問（4人）

三重県議会定例会

今後の日程（予定）

2月から3月までの日程（予定）は次のとおりです。

2月3日

代表者会議

10日 議会運営委員会

14日 本会議（議案上程）

17日 本会議（議案上程）

2月18日 本会議（代表質問・議案質疑）

24日 本会議（一般質問）

28日 本会議（一般質問）

3月2日 本会議（一般質問）

4日 本会議（一般質問）

7日 本会議（追加議案上程）

9日 本会議（一般質問・議案質疑）

10日 予算決算常任委員会

（予算総括質疑）

11日 各常任委員会・分科会

14日、15日、16日 予算決算常任委員会

全員協議会

22日 代表者会議

23日 議会運営委員会

24日 本会議（採決）

31日 本会議（議案上程・採決）

13日 予算決算常任委員会
令和4年度当初予算要求状況
差別解消を目指す条例検討調査特別委員会
執行部意見への対応について 他

14日 予算決算常任委員会
令和4年度当初予算要求状況にかかる総括
的質疑

15～17日、20日 各常任委員会・分科会

21日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会
執行部からの意見聴取について 他

22日 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会
条例案中間案の検討について

23日 予算決算常任委員会
議案の審査、所管事項の調査 他

23日 本会議（令和3年定例会閉会）
議案37件可決、人事同意議案1件上程・同意、請願1件採択、意見書案3件上程・可決

※この他にも、議会運営委員会、議会改革推進会議総会・役員会、代表者会議、全員協議会、委員長会議、議案聴取会、広聴広報会議など、さまざまな会議を開催しました。

※この日程は、令和4年1月5日現在の予定です。
最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。

TV テレビ中継 インターネット中継

文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しています。

代 表 質 問

活力ある産業づくりに おける観光振興について

北川 裕之 議員
(新政みえ)
名張市選出



問

国内の各地に観光客が戻りつつあり、今後、海外からの観光客も回復が期待されます。そのような中、2025年の「大阪・関西万博」、2026年の「ワールドマスターズゲームズ2021関西」は国内外からの観光誘客のチャンスとなり、大きな経済波及効果が見込まれます。

県はこのビッグチャンスに向け、どのように戦略的に取り組んでいくのですか。また、期間限定であつても、関西事務所に人的資源、財源を投資すべきと思います。すがいかがでしょう。



大阪市内の商店街における三重県フェア（2020年）

答

両イベントによる経済効果は非常に大きいと見込んでおり、これらのチャンスを最大限に生かすため、令和2年3月に①関西圏営業戦略を改定しました。特に、現在は大阪・関西万博に向けて重要な準備期間であり、県内の事業者や市町、商工団体等と連携し、関西圏の企業や在住者に三重を知ってもらい、三重のファンになつてもらつたための取り組みを進めています。また、今後取り組みを強化していく中で、関西事務所機能の充実についても検討していきます。

その他の質問事項

○新型コロナウイルス感染症の第6波に備えて
○知事の地方分権に対する考え方を問う
ほか



▲代表質問
(北川裕之 議員)

地産地消県民運動の 推進について

村林 聡 議員
(自由民主党)
度会郡選出



問

新型コロナウイルス感染症の影響により、農水産物が売れずに在庫が増えています。三重の農水産物を三重で食べる「地産地消」は環境にやさしい取り組みでもあります。環境負荷の低減などへの社会的関心の高まりもふまえ、これまでの「地産地消」の取り組みをさらに進めて、決まった日には県産食材を食べるというよう県民運動にまで盛り上げていく必要があると考えますが、いかがですか。

答

近年、輸送にかかる環境負荷の低減や地域農林水産業の継続につながる地産地消の重要性が再認識されています。県では、平成12年度から地産地消運動に取り組んでおり、生産者や量販店など関係者の皆さんとともに、県民の地産地消への理解につながる多くの取り組みを推進しています。今後は、「環境への配慮」「持続可能性」といった社会的関心を捉えたメッセージと合わせるなど、地産地消がこれまで以上の県民運動となるよう、しっかりと取り組みます。



その他の質問事項

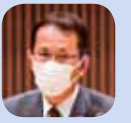
○地学に基づくまちづくり・既存集落の再整備
○漁場の有効活用と経営体の基盤強化について
ほか



▲代表質問
(村林聡 議員)

持続可能な 財政運営について

奥野 英介 議員
(章舞)
伊勢市選出



問

これまでの行財政改革の取り組みにより、経常収支適正度や県債残高の目標を達成するなど、県の財政状況は改善しつつありますが、県債残高総額は臨時財政対策債を含めると増加の途をたどっています。こうした財政状況をどのように捉え、今後どのように財政運営に取り組んでいくのでしょうか。事業にメリハリをつけるためにも、事業の見直しを集中的に行うべきだと考えますが、県の考えをお聞かせください。

答

臨時財政対策債は、本来は地方交付税として交付されるべきものの一部を、交付税に振り替えて発行される地方債です。その全額が交付税措置されませんが県の借金には相違ありません。臨時財政対策債の縮減を図るよう毎年国に要望しているところです。

持続可能な財政運営の維持に向けて、引き続き、経常的な支出の抑制と多様な財源の確保に取り組み、行政サービスへの的確な対応と財政の健全化をバランスよく実現するよう努めます。

その他の質問事項

○三重テラスの今後の運営について
○流域下水道事業の公営企業化について
ほか

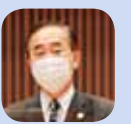


▲代表質問
(奥野英介 議員)

一 般 質 問

農業政策について

藤田 宜三 議員
(新政みえ)
鈴鹿市選出



問

食糧問題が非常に大きな問題になりつつある中、国民への安全な食料の供給や治水など、多面的な機能をもつ農業の社会的役割は大きく、再認識される必要があると考えます。

しかし、本県の農業の経営実態は大変厳しく、農業者が事業を継続できるよ

答

うにするための政策が必要です。知事の農業に対する思いと、今後の農業政策の展開方向をお聞かせください。



稲刈りの様子

農業は県内全域で営まれており、豊かな自然の中で多くの食材を私たちに届けてくれます。魅力あふれる三重の食、それを支える農業を持続可能なものとするため、大規模経営の育成や家族経営への支援を図り、「美しい国三重」を

その他の質問事項

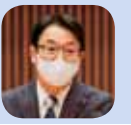
○花き花木産業の振興について
○鈴鹿亀山道路の進捗状況と今後の方針について
ほか



▲一般質問
(藤田宜三 議員)

人口の社会減対策について

石田 成生 議員
(自由民主党)
四日市市選出



問

知事は所信表明において、県外への人口流出に歯止めをかけるため社会減対策を強力に進める必要があると述べられました。が、三重の自然の恵みや恩恵を享受できる適正な人口の水準があるのではないのでしょうか。いずれにせよ、今後の人口減少対策ではなく、地域の特性や売りを生かした

対策が必要だと思えます。知事の考えをお聞かせください。



答

人口減少は経済力を削り、発展を困難とすることから、あらゆる対策を講じてしっかりと取り組んでいく必要があります。三重の良さや強みを生かし、観光や農林水産業などの産業振興、企業誘致等の取り組みを進め、県民の皆さんが元気に暮らせる三重、また多くの方が三重に住みたいと思ってもらえる選ばれる三重を目指していきます。

その他の質問事項

○脱炭素社会実現に向けた取り組みの推進について
○持続可能で健全な人づくりのための教育について
ほか



▲一般質問
(石田成生 議員)

リニア中央新幹線の 早期実現に向けて

長田 隆尚 議員
(章舞)
亀山市選出



問

亀山市からリニア中央新幹線が発表され、いよいよ夢ではなく現実のものという認識が高まっています。現在、県では②みえリニア応援クラブの会員を年齢要件付きで募集していますが、対象を広げるべきではないですか。今後、県民の気運醸成に向けてどのように取り組むのか県の考えをお聞かせください。

答

県民の気運醸成の取り組みの一つとして今年度から設置したみえリニア応援クラブは、対象をリニア開業時に社会人として利用する中学生から30代としていましたが、幅広い年代からの問い合わせをいただいているため、年齢に関係なく参加できるように見直しを行います。今後多くの方がリニアを理解し、参画いただけるよう取り組みの輪を広げていきます。

その他の質問事項

○土砂災害防止対策について
○デジタル技術を活用した情報発信について
ほか



▲一般質問
(長田隆尚 議員)

みえリニア応援クラブ募集ページ

「リニア中央新幹線」について諸課題への知事の考え

山本 里香 議員
(日本共産党／四日市市選出)



問 リニア中央新幹線の工事が進む中で、さまざまな心配事があります。湧き水・水枯れなどの自然環境破壊や景観破壊、大深度地下工事の危険性、そして、膨大な電力消費によるCO2の排出です。在来線と比べて約4倍のCO2排出量ともいわれており、世界的なカーボンゼロへの流れや県の方針から外れるものではないかと思えますが、知事の考えをお聞かせください。

答

リニア中央新幹線の東京・大阪間のCO2排出量は、東海道新幹線のぞみの約4倍ですが、速度域の近い航空機の約3分の1で化石燃料依存度も低いといわれており、今後、自然再生エネルギー使用によるCO2排出量抑制も考えられます。リニア中央新幹線は三重県発展に欠かせない重要な社会基盤です。早く全線開業に向けてしっかりと協力してまいります。



リニア模型
(みえリニア応援クラブ会員作成)

その他の質問事項

○鈴鹿青少年の森におけるサッカースタジアム建設について



▲一般質問
(山本里香 議員)

カーボンニュートラル(脱炭素)社会の実現に向けて

田中 智也 議員
(新政みえ／四日市市選出)



問 脱炭素社会推進本部が動きだしましたが、環境政策の視点で進んでおり、産業政策の視点が弱いのではないかと思います。2020年の工業統計調査の速報値でも付加価値額は化学製品の割合が大きく、とりわけ四日市コンビナートの存在が大きいです。カーボンニュートラル社会の実現に向けてどのように取り組んでいくのか、知事の考えをお聞かせください。



四日市コンビナート

答

製造業は三重県にとって重要であり、特に四日市コンビナートは県の雇用、経済に大きく寄与いただいています。既に四日市市長と意見交換を行いました。引き続き、四日市市と連携しながら、四日市コンビナートの今後の成長やカーボンニュートラル実現に向けた議論を加速化していきたいと考えています。

その他の質問事項

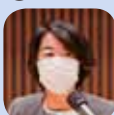
○大規模災害発生時の備えについて
○三重県における芸術・文化の振興を目指して



▲一般質問
(田中智也 議員)

伊勢湾再生について

山本佐知子 議員
(自由民主党／桑名市・桑名郡選出)



問 伊勢湾では赤潮防止のため水質改善に取り組み、厳しい規制をかけてきました。海はきれいになりましたが漁獲量は復活していません。今年6月、瀬戸内海環境保全特別措置法(瀬戸法)が改正され、「豊かな海」を保全していくため、関係府県が窒素やりん等の栄養塩類を管理し、藻場干潟の保全などを進めていくこととなりました。こうした動きも踏まえ、知事の伊勢湾再生への思いをお聞かせください。

答

伊勢湾の再生には、水環境の保全と水産資源の持続可能な確保の両方のバランスを維持しながら取り組んでいくことが重要です。県として、令和4年9月の策定に向けて検討している第9次削減計画において、瀬戸法の改正でも示された「規制から管理へ」の転換」を打ち出し、「きれいで豊かな海」の実現を目指してまいります。



津市御殿場海岸のアマモ場の様子

その他の質問事項

○太陽光パネルの処理について
○RDF施設の跡地利用等についてほか



▲一般質問
(山本佐知子 議員)

④ IIR(カジノを含む統合型リゾート)について

倉本 宗弘 議員
(草莽／桑名市・桑名郡選出)



問 私は、IIRを全否定しているわけではありませんが、IIRは地域の環境を大きく変えるリスク要因を持つていて、知事が三重の魅力として強調される豊かな自然を守ることにIIRの誘致とは相反するのではないのでしょうか。IIRは都市型の空港などに隣接し、それらと一体的な発展を望む地域のほうがなじむのではないかと考えますが、いかがですか。



答

IIRについては、観光産業の振興などで良い面がある一方、ギャングル依存症といった社会的懸念などもあります。IIRの誘致には、地域の合意形成が適切に行われることが必要です。誘致を行いたい市町があれば、まずは地元住民の皆さんの意向を確認していただくことが重要だと考えています。

その他の質問事項

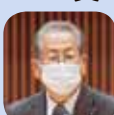
○バス路線について
○団体客の誘客についてほか



▲一般質問
(倉本宗弘 議員)

⑤ 熊野参詣道伊勢路世界遺産未登録部分の追加登録について

濱井 初男 議員
(新政みえ／多気郡選出)



問 熊野参詣道伊勢路で世界遺産に登録されているのは、熊野からツヅラト峠までであり、それより以北の伊勢路は未登録です。伊勢路のブランド力を上げ、本質的価値を維持し高めるために、世界遺産の追加登録に向けて取り組むべきではないでしょうか。世界遺産登録20周年を迎えるにあたり、追加登録に向けた機運を高める必要があると考えますが、いかがですか。

答

県では、世界遺産登録後、登録地域外も含めて道標や石仏、道の石段・石畳など、世界遺産に関連する資産の調査を続けています。今後も追加登録の可能性のある文化財について、市町と連携して価値の認められる範囲の確認を行うとともに、地域での講演会やイベント等に積極的に参加し、追加登録に向けた機運の醸成に努めます。



熊野古道(八鬼山越え)

その他の質問事項

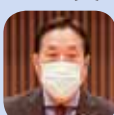
○強靱な県土づくりについて
○三重県新広域道路交通計画についてほか



▲一般質問
(濱井初男 議員)

さらなる南部地域活性化の取り組みを

中嶋 年規 議員
(自由民主党／志摩市選出)



問 県北部と南部との格差は、県政における過去からの課題であり、知事は人口減少対策の一環として南部地域活性化に取り組んでいくという決意を述べられています。そこで改めて南部地域活性化への知事の思いをお聞かせください。また、実行組織である南部地域活性化局は引き続き設置するべきだと思いますが、知事のお考えをお聞かせください。



英虞湾

答

南部地域には多くの観光コンテンツや豊かな食などさまざまな魅力がある資源があります。また、農林水産業も強みであり、これらを連携させた拠点滞在型観光を推進していきます。地域の魅力を磨き上げ、潜在的な可能性を引き出すため、南部地域活性化局が関係市町と連携しながら、その役割を拡大させていくことが重要だと考えています。

その他の質問事項

○一見県政のビジョンとプラン
○未来への投資を実現する起債のあり方ほか



▲一般質問
(中嶋年規 議員)

ジュニアスポーツ王国三重の樹立に向けて

喜田 健児 議員
(新政みえ／松阪市選出)



問 県は、来年度の栃木国体で10位以内という目標を掲げ、さまざまな取り組みを行うと聞いていますが、スポーツの力による地域の活性化、スポーツ振興による県民が誇れる三重県づくりのために、ジュニア世代の育成・強化が必要不可欠だと思います。将来の三重県スポーツを担うジュニア世代に対し、どのように競技力向上を図っていくのか、県の考えをお聞かせください。

答

ジュニア世代からの発掘・育成・強化は、本県の安定的な競技力確保のために重要な取り組みであると考えています。今後、三重とこわか国体に向けて培ってきたノウハウを生かしながら、ジュニア・少年・成年と、中長期的に県全体の競技力を安定的に維持・向上できるような取り組みをします。



その他の質問事項

○三重県産日本酒の海外での販路拡大について
○三重県における児童精神の医療体制整備、ならびに、医療機関としての支援についてほか



▲一般質問
(喜田健児 議員)

地域運動部活動推進事業について

服部 富男 議員
(自由民主党／三重県選出)

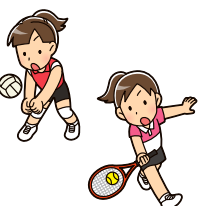


問

文部科学省が行う地域運動部活動推進事業は、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現のために、令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、全国各地の拠点校で実践研究を実施するものです。県は、このような国の動きに対して、今後どのように各市町に働きかけていくのかお聞かせください。

答

現在、県では県内3市町4中学校をモデル校として休日の部活動を地域団体に委ねる実践研究を行っています。今後、県と市町が定期的に協議する場を設け、モデル校の取り組みと課題を共有するとともに、地域移行の進め方を検討していきます。生徒にとって望ましい部活動が実現できるよう、市町と連携して取り組んでいきます。



その他の質問事項

○いじめ防止の取り組みについて

○国道306号整備についてほか



▲一般質問 (服部富男 議員)

児童虐待をなくすために

中村 進一 議員
(新政みえ／伊勢市選出)



問

県では、平成16年に全国初の「子どもを虐待から守る条例」を、平成23年には「三重県子ども条例」を制定し、子どもの権利が尊重される三重の実現を目指して取り組んできましたが、児童相談所への相談件数は増える一方で、相談件数増加の一因として、新型コロナウイルスの影響も考えられる中、潜在化している事例の掘り起こしも必要だと考えますが、いかがですか。

答

コロナ禍で、育児等に深刻な悩みを抱える保護者が、さらに孤立し、児童虐待のリスクが高まる懸念があります。孤立した妊産婦や子育て世帯、その子どもを、誰一人取り残すことがないよう、市町の「子育て世代包括支援センター」や「子ども家庭総合支援拠点」の整備を促進し、連携強化を進め、母子保健と児童福祉の一体的な支援体制を構築していきます。



その他の質問事項

○自治体のデジタル化で県民はどうなる

○知事の平和に対する思い



▲一般質問 (中村進一 議員)

用語解説

1 関西圏営業戦略

三重県の情報発信や県産品等の販路拡大、観光誘客など、関西圏における営業活動を戦略的に展開するための基本方針や具体的な取り組みを示すものです。

2 みえリニア応援クラブ

リニア中央新幹線の県内駅位置の早期確定および一日も早い全線開業の実現に向け、県民の皆さんに対する啓発活動を行い、一層の気運醸成を図るために設置したクラブです。

3 水質総量削減計画

人口、産業等が集中し、汚濁が著しい広域的な閉鎖性海域（東京湾、伊勢湾および瀬戸内海）の水質改善を図るため、工場・事業場のみならず、生活排水等も含めた全ての汚濁発生源について、環境大臣が定める総量削減基本方針に基づき、知事が汚濁負荷量（窒素含有量やりん含有量など）の削減目標量、対策等を定めるものです。

4 IIR

Integrated Resortの略で、カジノやホテル、国際会議場や展示会場などのZCM施設、ショッピングモールなどが一体となった複合観光集客施設のことです。

5 熊野参詣道伊勢路

日本人にとって特別な場所である伊勢神宮から、いくつもの険しい峠を越え、熊野三山と呼ばれる、熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社の三社等を詣でるために通った「祈りの道」です。



用語解説

2021年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」発表

三重県議会では、議会活動について広く関心を持っていただけるよう、昨年末、県民の皆さんや県議会議員からの投票により、2021年の「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」の選定を行いました。今回選定された取り組みをご紹介します。（各項目の詳細は、県議会ホームページをご覧ください。）

住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進

○新型コロナウイルス感染症への対応
《国に意見書提出、補正予算を先議など》（2月）

独自の政策提言と政策立案の強化

○「差別解消を目指す条例検討調査特別委員会」で検討を継続（1月）
○議員提出条例として「三重の木づかい条例」を可決
《木材利用を推進するための県の取り組みなどを定める》（3月）

議員報酬、政務活動費及び選挙など

○政務活動費の減額《45%減額》（1月～6月）
○「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例」の可決
《現在の定数51人から48人に》（5月）

その他

○三重県茶業会議所と共催で「おいしい伊勢茶の淹れ方教室」を開催（3月）
○「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置（3月）
○全議員にタブレットを配付（3月）
○「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置（6月）
○新型コロナウイルス感染症等に対応するため緊急会議を7回開催《補正予算を可決》（1月）



新型コロナウイルスに関する補正予算可決

自治功労者表彰

11月22日、議場において、在職15年以上および10年以上の議員に対し、全国都道府県議会議長会の自治功労者表彰が議長から伝達されました。

在職15年以上

津田 健児 議員

在職10年以上

濱井 初男 議員
東 豊 議員
石田 成生 議員
小島 智子 議員
藤根 正典 議員
田中 智也 議員
谷川 孝栄 議員
下野 幸助 議員

令和3年度第1回三重県議会議員勉強会を開催

11月22日、公益財団法人反差別・人権研究所の代表中村尚生さんと安田賢行さんを講師に、「SNSと人権侵害」と題して、第1回目の議員勉強会を開催しました。

近年、インターネット（以下ネット）やスマートフォンでの誹謗中傷やプライバシー侵害などの人権侵害が社会的に大きな問題になっています。そこで、ネット上のモラルを正しく学ぶ機会として、参加型の勉強会を実施しました。

勉強会では、講師からネット・SNS上で起こる差別事象の実態についてお話を聞いた後、議員が個別で実際にあった差別事象についてワークショップを行いました。

講師からは、自分に関係する問題に変わったときに偏見や差別意識が表出するので、差別を自分の問題として考えることが大事であるとのまとめがありました。



ワークショップの様子